

持ち上げない介護推進プロジェクト

昨今の介護の施設では「介護人材不足の深刻化」と共に、人の手による持ち上げ介護により、腰痛発生者の増加、また腰痛に伴う休職者や離職者の増加が大きな問題となっています。

福祉のまちづくり研究所では、介護負担の軽減、利用者の安全・安心につながる介護を推進するため、平成30年度から「持ち上げない介護推進プロジェクト」を立ち上げました。

不良な介護姿勢の改善や福祉用具を効果的に活用した重点的な研修を行い、職場ぐるみで「持ち上げない介護」に取り組んでいただける施設を「**ひょうごノーリフティングケアモデル施設**」として認定し、広く介護施設に向けた普及推進に取り組んでいます。



ひょうごノーリフティングケアモデル施設認定証授与式
2019年7月30日 兵庫県公館

ひょうごノーリフティングケア モデル施設

令和元年度

社会福祉法人 円勝会 特別養護老人ホーム 第2シルバーコースト甲子園
医療法人社団 奉志会 介護老人保健施設 サンライズ
社会福祉法人 播陽灘 特別養護老人ホーム いやさか苑
社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム たじま荘
社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム 丹寿荘

平成30年度

社会福祉法人 きらくえん 特別養護老人ホーム KOBE須磨きらくえん
社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム 万寿の家
社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム くにうみの里

令和元年度 ひょうごノーリフティングケア モデル施設

社会福祉法人 円勝会 特別養護老人ホーム 第2シルバーコースト甲子園



〒663-8143
西宮市枝川町17-55
TEL:0798-43-0801 《担当:北条》

令和元年度の「ノーリフティングケアマネジメント研修」を受講し、施設全体で体制づくりに取り組み、環境整備や様々な福祉用具の導入を行いました。中でも負担が大きいとの声が多かった臥床式特殊浴槽の脱衣所に天井リフトを設置し、一切の持ち上げ動作をなくすことで、入居者の方への安全で快適なケアの提供及び、職員の腰痛予防といった環境を整えることができました。現在は、福祉用具を安全に使用するための職員教育に力を入れています。今後も入居者、職員双方にとって安心・安全な環境づくりに取り組んでいきます。

医療法人社団 奉志会 介護老人保健施設 サンライズ



〒675-1114
加古郡稲美町国安1237
TEL:079-496-5211 《担当:松下》

サンライズでは職員と利用者様の双方に負担が少なく、生活機能の向上を図れる介護を目指し昨年度4月よりノーリフティング委員会を発足し役割を分担して活動しています。当施設はひょうごノーリフティング認定施設としては唯一の老健施設であり、老健施設の特徴である在宅復帰が従来では介助量が多く難しかったケースに対して、負担の少ない介助方法や介護ロボットの活用を行い有効的な在宅復帰支援が行えるよう取り組んでいます。

その為に、リハビリ職と介護職担当が共同してADL評価を行い電子カルテ上での共有やリハビリスタッフと介護管理職が連携し月に1度、施設内勉強会の実施、リフト・福祉用具機器の随時導入を行っています。

今後もひょうごノーリフティングケアの推進を通し東播地域の間接施設として在宅支援に貢献できるよう努力していきます。

社会福祉法人 播陽灘 特別養護老人ホーム いやさか苑



〒672-8013
姫路市白浜宇佐崎北町1丁目29番地
TEL:079-247-1122 《担当:田上》

いやさか苑は、開設当初(2010年)から「持ち上げない介護」を取り組み、令和2年度の4月にモデル施設の認定を受けました。

施設内では、月1回のユニット会議、ノーリフティングケア委員会において、入居者の状態と床走行リフトやスタンディングリフト、ボード、歩行器、杖などの移動・移乗用福祉用具の適合を検討しています。

また、職員全員が実践的に活用できるよう、教育体制を整えています。

今後も入居者にとって自立した移乗・移動及び職員の腰痛予防となる、両者ともに負荷のかからない「安心」「安全」「安楽」な介護に努めます。

令和元年度 ひょうごノーリフティングケア モデル施設

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム たじま荘



〒669-5365
豊岡市日高町十戸455
TEL:0796-44-1730 《担当:堀井》

たじま荘は、ご利用者に安心していただけるケアの提供と、女性でも年配になっても安心して仕事が続けられる職場を目指して取り組みを開始しました。全職員を対象に毎月、研修会を開催して技術の向上に努めています。床走行式リフト、ベッド固定式リフト、個浴室リフトの導入や、スライディングボード等、ご利用者の状況に応じて積極的に用具を活用しています。介護の方法や、環境、設備面も含めた見直しを行うことで、取り組みにおける一人ひとりの意識と行動を変えて、ご利用者、職員双方にとって安全なケアの実践に取り組んでいます。

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム 丹寿荘



〒669-4341
丹波市市島町上竹田2336-1
TEL:0795-85-3251 《担当:中村》

丹寿荘では令和元年度からノーリフティングケアの取り組みを始めました。介護技術の習得に向けた研修を行い、また不良姿勢での作業の見直し、環境面での改善に向けて取り組んでいます。ノーリフティングケア推進委員会を月1回開催し、リフトやボードなどの福祉用具の導入、使用方法の研修も計画的に実施出来るように検討しています。ご利用者、職員にとって安心、安全なケアが出来るよう、職員の腰痛予防対策としても、出来ることから一つ一つ取り組みを積み重ねていきたいと考えています。

平成30年度 ひょうごノーリフティングケア モデル施設

社会福祉法人 きらくえん 特別養護老人ホーム KOBE須磨きらくえん



〒654-0111
神戸市須磨区車字菅ノ池1351-14
TEL:078-747-3001 《担当:棚橋》

KOBE須磨きらくえんは、2012年の開設当初から「ノーリフティングケア」を掲げ、天井走行リフトやボードといった福祉用具の導入や、「NLCM(ノーリフティング・ケア・マイスター)研修」での持ち上げない介護技術の習得を目指した研修を行ってきました。今年度「ひょうごノーリフティングケア モデル施設」の認定をいただいたことで、改めて入居者の皆様と職員の身体にやさしい笑顔あふれる施設を目指し、設備や環境の見直し、技術の習熟と伝達、ケアに対する考え方を深めるための取り組みに力をいれています！

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム 万寿の家



〒651-2181
神戸市西区曙町1070
TEL:078-927-2727(代表) 《担当:野上》

万寿の家では月1回のノーリフティングケア委員会にて活動内容を検討し、ご利用者のアセスメントに基づいた自立を支援するプランニング、職員の健康管理、ご利用者と職員の安全・安心の為の介護技術の向上を図っています。研修やOJTを充実させ、職員同士の練習会も活発に行っています。また様々な福祉用具や介護ロボットのデモを行い、スタンディングリフトや吊り上げ式リフト、ボード等を活用しています。令和2年秋の施設移転を控え、「施設まるごとノーリフティングケア」を目指して整備計画を進めています。

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム くにうみの里



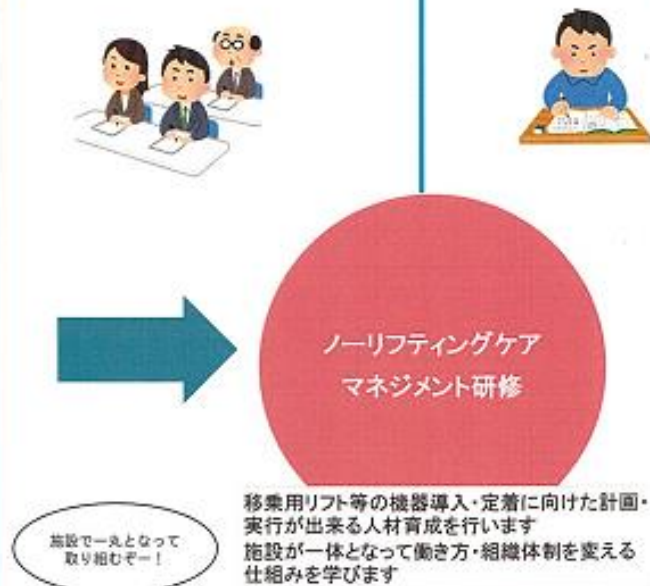
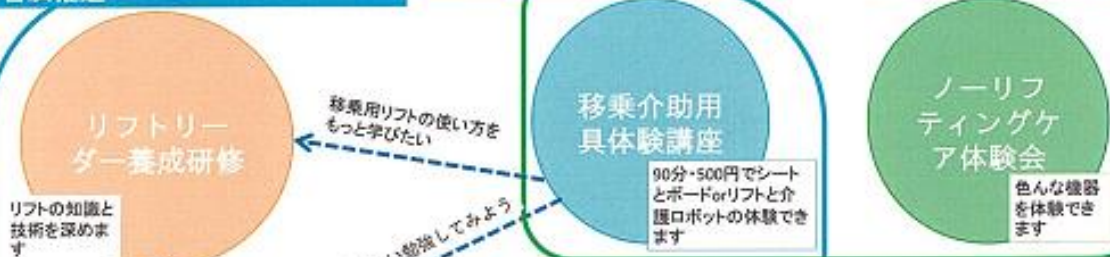
〒656-0013
洲本市下加茂1-6-6
TEL:0799-22-3344 《担当:岡崎》

くにうみの里は、開設当初からノーリフティングケアの推進を図り、今年4月にモデル施設の認定を受けました。ケアの見直しに加え、必要な福祉用具や機器を導入しています。あわせて、全職員を対象とした研修、指導者に特化した研修の場を定期的に設けるとともに、月に一度施設内で行われる勉強会にも他事業所の方々と一緒に参加しています。技術面に不安のある職員には個別に対応し、着実なスキルアップにつなげることで、ご利用者、職員にとって安全で安心なケアに取り組んでいます。

持ち上げない介護推進プロジェクト ～ひょうごノーリフティングモデル施設の認定～

介護施設へのノーリフティングケアの普及推進

一般県民・相談専門職への啓蒙



モデル施設認定要件

- 青森内の2研修受講
- ノーリフティングケアマネジメント研修内の実技テストの合格
- 最終報告書の提出
- 施設の訪問審査

報告書
実技テスト
訪問審査
審査会

モデル施設認定



これから、一緒にノーリフティングケアの推進をしましょう！！